

529ヘクタールの水源の森からのホットな情報発信

第106号

2012年 7月

やどりき水源林ニュース

発行 (公財) かながわトラストみどり財団 編集 NPO 法人かながわ森林インストラクターの会
 〒220-0073 横浜市西区岡野2-12-20 神奈川県横浜西合同庁舎内
 ☎045-412-2255 http://www.ktm.or.jp E-mail:midori@ktm.or.jp

定例観察会のお知らせ (費用等負担はありません)

毎週土曜・日曜の午前10時と午後1時から「NPO 法人かながわ森林インストラクターの会」会員が水源林をご案内します。やどりき水源林ゲート前までお越しください。なお、冬季(12月・1月・2月)は安全確保のため休止します。

いのちきらめく*水源林*探してみよう*たからもの

今年からインストラクターになった7月号ニュースの担当。散歩が大好きです。森を歩いていると、たくさんの発見と出会いがあります。水源林は今、濃い緑色。春のサクラのように華やかな色彩の花はほとんど見当たりません。でも、ちょっと立ち止まって見渡すと・・・おやおや? 不思議なものを発見! これはなんだろう? まるで宝探しのようでわくわくします。では、今月の取材の際に担当が見つけたものをご紹介します。



虫がかくれんぼ

森の中に泡? 実はこれ、アワフキムシのおうちなんです。泡は丈夫でちょっとついても壊れません。アワフキムシの種類は沢山あり、庭や公園で見つけられるものもあります。

鹿の歯を発見!

なんとこの歯で鹿の歳が判るそうです。



鳥の卵の殻。落としたのは誰かな?



ウリハダカエデの若い幹です。マクワウリの模様そっくり!



うり坊です

猪のこどもだよ

僕の背中の模様とも似てるかな?



緑色のミノムシ!?
手に取ってみると・・・



小さくはがれます。
クマシデの若い実です

かわいい花だつ
たんだね



これはマメ科の樹木、ジャケツイバラのさやです。結構大きいですよ。でも中の実はどこかへいったみたい。



キノコは森のお掃除屋さん。落ち葉や枯れ枝などを分解します。今日の取材ではこんなにたくさんのキノコを見つけました。キノコは傘が出ると、1日から数日で姿を消してしまいます。この傘は詳しくは子実体といい、私たちが日ごろ目にしている花と同じような役目を持っています。



まるで樹皮がバナナのように剥がされています。これは「熊剥ぎ」といってツキノワグマが形成層をかじった痕跡だそうです。

7月のトピックス

水源林内の巣箱でオオコノハズクのお母さんが卵を抱いているとの情報がありました。ヒナはふ化するでしょうか? 暖かい気持ちで見守って行きたいですね。



8月の水源林

もうすぐ梅雨明け、そして夏休み。お子様たちの明るい声が水源林いっぱいに響きます。沢では楽しい水の中の生き物探しを行います。また、やどりき水源林の集い(8月11日)も行われます。ぜひご参加ください。